

## プログラム 1月31日 13:00～17:00

### 〔セッションⅠ〕 災害時における障害のある児童生徒の支援のための学校の在り方

13:15～16:50

この度の東日本大震災では、改めて地域で生活している障害のある児童生徒への支援の在り方が問い直されました。本セッションでは、被災地で避難所となった特別支援学校の事例を取り上げ、震災時対応の実際とそこから得られた障害のある児童生徒の支援のための学校の在り方を総括します。

前半は、基調報告及び指定発言をいただきます。後半は、阪神淡路大震災の教訓を活かし唯一の高等学校環境防災科を創設した兵庫県の取り組みを紹介いただくとともに、災害時において特に学校現場で必要なメンタルヘルスの問題を取り上げながら、災害時における障害のある児童生徒の支援のための学校の在り方について議論を深めるシンポジウムを行います。

コーディネーター 西牧 謙吾（教育研修・事業部 上席総括研究員）

<基調報告Ⅰ、Ⅱ> 13:15～15:00

櫻田 博 氏 宮城県立石巻支援学校 校長

菅井 裕行 氏 宮城教育大学 教授

【指定発言】 佐々木政義 氏 岩手県教育委員会事務局学校教育室 首席指導主事兼特別支援教育担当課長

【指定発言】 高屋 隆男 氏 福島県立聾学校 校長

<シンポジウム> 15:15～16:50

諏訪 清二 氏 兵庫県立舞子高等学校 教諭

吉田 弘和 氏 宮城県子ども総合センター 医師

櫻田 博 氏 宮城県立石巻支援学校 校長

菅井 裕行 氏 宮城教育大学 教授

## 2月1日 9:30～16:00

### 〔行政説明〕 特別支援教育行政の現状と課題

9:40～10:10

〔講師〕 千原 由幸 氏 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 課長

### 〔セッションⅡ〕 特別支援教育における障害種に対応した指導の進め方

10:10～12:10

本年度のセッションにおいては、国立特別支援教育総合研究所の障害種別研究班による情報提供の機会を設け、障害に対する基本的理解、トピックス、研究活動などの紹介を通して、障害の特性等を踏まえた指導に際して配慮すべき事項等について、情報提供します。

コーディネーター 原田 公人（教育研修・事業部 総括研究員）

視覚障害教育の視点から 田中 良広（教育相談部 総括研究員）

知的障害教育の視点から 工藤 傑史（教育研修・事業部 総括研究員）

肢体不自由教育の視点から 金森 克浩（教育情報部 総括研究員）

### ポスター発表

12:45～13:45

本研究所の平成22年度終了研究課題（専門研究A・B、共同研究）の成果を、研究担当者からポスターを用いて報告します。なお、平成23年には、本研究所が創立40周年を迎えたことから、写真等のパネル展示を計画しています。

## 第1分科会 幼稚園、小学校における支援の工夫と連続性を考える

「発達障害のある子どもへの学校教育における支援の在り方に関する実際的な研究  
－幼児教育から後期中等教育への支援の連続性－」から

本研究では、発達障害のある子どもについての幼児教育から後期中等教育に至るライフステージに応じた教育的支援の在り方及び支援の連続性について検討し、各ステージにおける支援のモデルを学校現場に提案することを目的としています。

本分科会においては、小学校と幼稚園における支援に焦点をあてます。それぞれのステージにおける支援の独自性と共通性について現状と課題を整理し、支援がどのようにつながっていくことが望ましいのかについて協議を行います。

研究報告	笹森 洋樹 (企画部 総括研究員)
同	小林 倫代 (教育相談部 総括研究員)
同	久保山茂樹 (企画部 主任研究員)
実践報告	樋口普美子 氏 和光市立第五小学校 教諭
同	伊藤こずえ 氏 取手市立藤代幼稚園 園長
指定討論	泰 昌子 氏 松江市健康福祉局子育て課 指導主事
同	飯野 茂八 氏 青森県総合学校教育センター 指導主事

## 第2分科会 自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する自閉症のある児童生徒の国語科教育の在り方について

「特別支援学級における自閉症のある児童生徒の「カリキュラムアセスメント」(仮称)  
に基づいた教育課程編成に関する実際的な研究」から

本研究では、自閉症・情緒障害特別支援学級担任が、在籍する自閉症のある児童生徒の国語科学習における習得状況(国語科カリキュラムアセスメントシートの活用)について実態把握をした上で、国語科学習の指導内容をどう構成していくのかを研究の中核としています。

本分科会においては、各参加の先生方に、ご自身の学級に在籍する自閉症のある児童生徒を念頭に、①国語科アセスメントシートを実際にチェックしてもらう簡単なワークショップを行うとともに、②研究協力校の小・中学校の自閉症・情緒障害特別支援学級担当者から、カリキュラムアセスメントの結果を国語科の授業に生かした事例を報告してもらい、そのエッセンスを学んでいただくことを計画しています。

研究報告	廣瀬由美子 (教育情報部 上席総括研究員(兼)発達障害教育センター長)
同	小澤 至賢 (教育支援部 主任研究員)
実践報告	藤田 直子 氏 取手市立戸頭西小学校 教諭
同	深澤しのぶ 氏 伊勢原市立中沢中学校 教諭
指定討論	石塚 謙二 氏 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官

## 第3分科会 特別支援学校における新学習指導要領に基づいた教育課程編成の在り方に関する実際的な研究

本研究では、特別支援学校における新学習指導要領の下での幼児児童生徒一人一人の個々のニーズに対応した教育課程編成の在り方について検討しています。

この分科会では、全国約1,000校の特別支援学校に対して実施した質問紙調査の結果報告及び研究協力校の内の2校による実践報告を通して、教育課程編成の現状と課題を明らかにし、望ましい在り方について考究していきます。

研究報告	柘植 雅義 (教育情報部 上席総括研究員(兼)教育情報部長)
同	原田 公人 (教育研修・事業部 総括研究員)
同	長沼 俊夫 (企画部 総括研究員)
実践報告	大森 勝子 氏 茨城県立協和養護学校 教諭
同	河野 隆弘 氏 千葉県立聾学校 教諭
指定討論	竹林地 毅 氏 広島大学 准教授

## ◆ 参加申込み

- (1) 申込要領 参加申込は、研究所ホームページ(<http://www.nise.go.jp/>)において、直接お申し込みください。  
また、問い合わせ先へのFAXでの申込みも可能です。申し込みに当たっては、参加日、希望分科会名(第2希望まで)、氏名(ふりがな)、所属・職名、連絡先電話番号をお知らせください。  
なお、本セミナーへの参加に当たり、手話通訳、車いす等特別な配慮を必要とする場合は、申込時にその旨をお知らせ願います。  
参加申込を受け付けましたら、後日メール等にてお知らせします。
- (2) 申込み期間 平成23年12月1日(木)～平成23年12月26日(月)  
※12月1日以前の申込は、受付いたしませんのでご注意ください。
- (3) 定員等 700名  
※先着順で受付け、定員を超えて受付ける場合は小ホールでの映像視聴となります。  
なお、参加に当たって、録音・撮影はできませんので、ご留意願います。
- (4) 参加費 無 料
- (5) 宿泊・昼食 宿泊が必要な場合は、各自で手配してください。  
また、昼食はセンター内の食堂等をご利用ください。  
※ホール内での飲食はできませんが、会場のロビーはご利用いただけます。
- (6) 問い合わせ先 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所  
総務部企画調整課企画係  
〒239-8585 神奈川県横須賀市野比5-1-1  
電 話 046-839-6806 (又は6808)  
FAX 046-839-6919  
e-mail kikaku@nise.go.jp

### 会場案内図



### 国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 TEL.(03)3469-2525(代表) FAX.(03)3469-2277

#### 〔交通案内〕

- 小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 京王バス  
新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車  
渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車
- 地下鉄千代田線 代々木公園駅下車 [代々木公園方面4番出口]  
徒歩約10分

# 平成23年度 国立特別支援教育総合研究所セミナー 参加のご案内

## 今、特別支援教育に求められるもの —子どもを守るために、育てるために—

- ◆ 期 日 平成24年 1月31日(火)・2月1日(水)
- ◆ 会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
- ◆ 定 員 700名
- ◆ 主 催 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所

国立特別支援教育総合研究所では、本研究所における研究活動等の成果普及や質の向上、教育現場等教育関係機関との情報の共有を図るため、毎年度「国立特別支援教育総合研究所セミナー」を開催することとしています。

平成23年度のセミナーでは、去る平成23年3月11日に発生した東日本大震災において、改めて地域で生活している障害のある児童生徒への支援の在り方が問い直されたことから、第1日目に「災害時における障害のある児童生徒の支援のための学校の在り方」と題して、東日本大震災における学校での対応を確認すると共に、災害時に障害のある児童生徒をしっかりと支えるために学校に求められる機能について、皆様と共に議論を深めるよう設定しました。また、第2日目には、「特別支援教育行政の現状と課題」として文部科学省行政説明、「特別支援教育における障害種に対応した指導の進め方」と題して研究所からの情報提供と、現在重点推進研究として取り組んでいる三つの研究課題についての成果発表を分科会として設定しました。

爽り多い機会となりますよう、ご参加に当たっては、積極的にご意見等をお寄せください。

実行委員会委員長 大内 進 (教育支援部 上席総括研究員(兼)教育支援部長)

### 日 程

<第1日目> 平成24年1月31日(火) (カルチャー棟：大ホール)

	12:00	13:00	13:15	15:00	15:15	16:50	17:00
		受付	開 会 式	セッションⅠ：災害時における学校の対応の在り方 基調報告Ⅰ、Ⅱ	休 憩	シンポジウム	諸 連 絡

<第2日目> 平成24年2月1日(水) (カルチャー棟：大ホール、小ホール センター棟：417室)

9:00	9:30	10:10	12:10	12:45	14:00	16:00	
受 付	開 会 行 政 説 明	セッションⅡ：障害種 に対応した指導の進め方	休 憩	ポ ス タ ー ※ 発 表	セッションⅢ：研究発表 第1～第3分科会	散 会	

※ ポスターは、第2日目の朝より掲示する予定です。